※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１０

令和５年度　理科

教科	理科	科目	化学（前）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	化学（実教出版）						
副教材等	ベストフィット化学　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

大学入試に対応することはもちろんですが、「化学」がどのように日々の暮らしや社会につながっているか、どのように役立っているかを学習し、実験を通して理解を深めていきます。

実験し、観察を重ねると、今まで気づかなかった現象・事実に対し、「何故？」「どうして？」という疑問に向き合い、整理し解決の糸口を探る。物事に対する思考の積み重ねは、必ず進学しても通用することでしょう。様々な問題を段階を踏んで解きながら、化学的な思考力を身につけ、自ら学ぶ姿勢を養います。

２　学習の到達目標

・化学の役割や物質の扱い方を理解するとともに、物質に対する関心を高め、物質を探究する方法を身につける。
・物質の構成粒子を観察・実験などを通して探求し、基本的な概念を理解する。
・化学反応をエネルギーの出入りと関連づけて考察できる。
・化学反応の速さと平衡を観察・実験を通して探求し基本的な概念を理解する。
・化学が日々の暮らしや人の役に立っていることを理解し、見通しをもって観察、実験などを行い化学的に探求する能力と問題解決の能力を育てながら化学的思考力を身につける工夫をし、自ら学ぶ姿勢を養います。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、知識を身につける。 化学的に探求するために必要な観察、実験などに関する技能を身につける。	化学的な事物・現象に問題を見いだし、観察・実験を行い、化学的に探求する力を養う。研究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	化学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、主体的に関わる。意欲的にそれらを探求すると共に、科学的態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の状態と平衡	状態変化 固体の構造 気体の性質 溶液	a:気体について基本的な原理・法則を理解し、知識を身につけている。溶液の濃度やその特性について理解し、応用する技能を習得している。 b:それぞれの物質を結合によって区別し、その性質を結合と関連づけて考えることができる。 c:それぞれの結合とその結晶について正確に区別し、その性質や利用例を日常の事象と関連づけて探求しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 実験レポート	ノート 振り返りシート
2学期	物質の変化と平衡	化学反応と熱・光エネルギー 電池と電気分解 反応の速さと仕組み	a:熱化学方程式の意味を理解し、それを基に化学変化の反応熱を科学的に推定する。電池・電気分解に興味を持ち、それらの性能や反応を理解し、その便利さと実用性を探求しようとする。 b:熱化学方程式の意味を理解し、ヘスの法則の成立を実証的、論理的に考察する。電池・電気分解を理解し、酸化還元反応として論理的に考察する。 c:電池・電気分解の実験をグループで取り組み、その解明を科学的に表現し、発表する。電気分解において、量的関係を理解し、意欲的に探求しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 実験レポート	ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	物質の変化と平衡	化学平衡	a:化学平衡とその移動に関心を持ち、意欲的に探求しようとする。化学平衡に関して実験を行い、その技能を習得すると共に、実験結果から、濃度・圧力・温度との関係を調べる方法を関連づけて考察することができる。 b:考察して導き出した考えを的確に表現できる。結果を班でまとまって考察し、科学的に表現し、発表できる。 c:実験の結果を班でまとめ、その性質や利用例を日常の事象と関連づけて意欲的に探求しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 実験レポート	ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度